

第一部 国際社会の法的構造

国際社会を構成するのは何か

国家を構成するのは何か

国家の三要素 住民・領域・政府 + 自決権？

国家領域はどのように決められるか

領域とは 藤田 p. 205

領域「権原」の意味 日本での一般的定義 藤田 p. 209

紛争の実際

法規則に関する争いはない 領域権原取得「態様」(pp. 212-222)

かつては争いがあった パルマス島事件 判例 28

教科書的「権原取得態様」への当てはめでは解決できない例

マンキエ・エクレオ島事件 判例 29B

パルマス島事件 判例 28

実効性の役割 強い者が勝つ？

ベルギー・オランダ国境紛争 資料

ブレア - ヴィヘア事件 判例 30

実効性の役割の整理 ブルキナファソ - マリ国境紛争 判例 31

北方領土紛争 二島（歯舞・色丹）返還か四島（+ 国後・択捉）返還か

2001年イルクーツク声明 資料

1956年日ソ共同宣言

1951年対日平和条約（サンフランシスコ平和条約）

1945年ポツダム宣言

1943年カイロ宣言

1905年ポーツマス講和条約

まとめ 領域紛争の実際

番外編 竹島 芹田資料